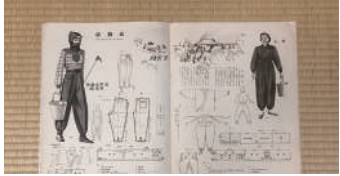


解剖!! 久留米緋とMONPE 10のこと

着物をほどいて 作られた「もんぺ」



1942年、厚生省による着衣のガイドライン「婦人標準服」で発表され、もんぺは全国に広がりました。布不足の中、女性たちは着物をほどいてもんぺを仕立てたのです。戦後も農作業着として定着し、久留米緋の生地が使われてきた歴史があります。

糸を縛るってどういうこと?



緋(かすり)とは、糸を縛って防染し柄をつくる技法のことです。イメージしにくいかもしれませんが、文字通り織る前の糸の束をぐるぐる縛る「くくり」と呼ばれる工程です。その糸を染めてほどこいて、白く残ったところが柄になります。

久留米緋の柄の種類は?



織物には、たて糸とよこ糸があり、緋にもよこ糸をくくる「よこ緋」、たて糸をくくる「たて緋」、そして両方ともくくる「たてよこ緋」があり、柄合わせが難しく技術が必要です。他にも産地では無地、縞、チェックも織られています。

1 前ポケット

かがんだ時にお尻がつっぱらないよう前ポケットがついています。農作業着として穿かれていたもんぺの名残です。

2 かすれた模様を 構築する緋 かすり

糸を縛って防染した「くくり糸」でつくる柄。プリントでは表現できない独特の模様が特徴です。

3 柄物だけじゃなく 無地もあるよ

久留米緋は柄を構築するのが最大の特徴。着心地を知ってもらえる無地も織っています。

4 Made in Fukuoka の綿織物

福岡県南部の筑後地方で織られる久留米緋。綿織物なので、天然繊維ならではの良さが魅力です(商品には久留米緋以外の生地が使われているものもあります。)

10 男女兼用 SMLサイズ!

老若男女、誰でも穿くことができるのが、MONPEのいいところ。家族で兼用しているリピーターさんも多いんです。

9 あとから絞れる裾ゴム付き

もんぺはもともと裾にゴムがあらかじめ入っていましたが、現代で穿きやすいように、あとから絞れるよう内側にいれました。

5 ゴムと紐の併用なのだ

ゆるい腰ゴムなので、いろんな体型の方に合います。最後に紐でキュッと結べば、ずり落ちません。

6 180-240gという軽さ 旅行用にも最適!

Tシャツと同じくらいに圧倒的に軽い。旅行などにもおすすめのクルクルほん!

7 細身の 現代風もんぺ型紙

日常着として着られるように少し細身の形。着尺の幅でつくれる型紙も販売しています。

8 膝当て ついてます

もんぺは農作業着、負荷がかかっても、膝が破れないように膝当てがついています。

TOYOTAの ビンテージ織機



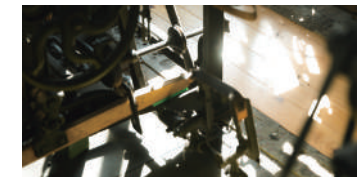
トヨタ創業者の豊田佐吉が開発したものと同一モデルの、80年ほど前の小幅のシャトル織機を今でも使っています。現代の高速織機に比べると織りがゆるやかで、とても軽くやわらかく、手織りに近いような風合いの生地なのです。

カラフルな柄もたくさん



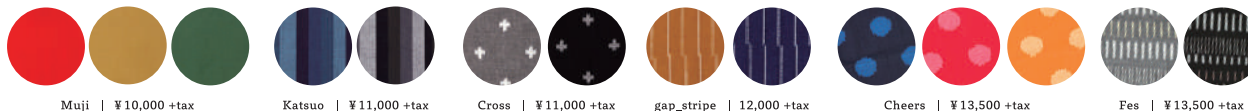
久留米緋の染めは伝統的には藍染でしたが、化学染料が導入されてからは、さまざまな色の生地が織られるようになりました。今も藍染を続ける織元も残っていますが、MONPE シリーズでは主に化学染料を使用しています。

縮小する久留米緋の 産地の現状



最盛期には300件以上あった織元も現在は20数件まで減っています。それでも藍染手織りと化学染料機械織りの織元が半々ほど残っており、個性ある織元ばかりです。新しい層に久留米緋のことを知ってもらってほしいと思っています。

もんぺの柄ずらずら〜 他にもずらずらあります〜



Muji | ¥10,000 +tax

Katsuo | ¥11,000 +tax

Cross | ¥11,000 +tax

gap_stripe | 12,000 +tax

Cheers | ¥13,500 +tax

Fes | ¥13,500 +tax

Hana gara | レッド ¥15,000 +tax